

総務産業委員会報告書

平成28年9月26日

備前市議会議長 鵜川晃匠 殿

委員長 山本恒道

平成28年9月26日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第93号 平成28年度備前市飲料水供給事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	なし
議案第94号 平成28年度備前市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	なし
議案第95号 平成28年度備前市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	なし
議案第101号 平成27年度備前市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	なし
議案第104号 平成27年度備前市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	なし
議案第105号 平成27年度備前市飲料水供給事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	なし
議案第106号 平成27年度備前市宅地造成分譲事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	なし
議案第107号 平成27年度備前市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	なし
議案第108号 平成27年度備前市企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	なし
議案第109号 平成27年度備前市水道事業会計決算の認定について	認定	なし
議案第110号 平成27年度備前市下水道事業会計決算の認定について	認定	なし
請願第11号 本市市役所及び本市議会議事堂の移転新設に係る請願	不採択	なし

<所管事務調査>

- 地域振興活性化事業補助金の交付状況について
- 公共下水道管路調査について
- 旧日生病院跡地の活用について

<報告事項>

- 日生町漁業協同組合の海洋立国推進功労者表彰受賞について（まち産業課）
- 万能池（吉永町笹目地区／和気町管理）の漏水について（まち産業課）
- 旧日生病院跡地の活用について（まち営業課）
- 頭島のレストランの開業について（まち営業課）

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第93号の審査	2
議案第94号の審査	2
議案第95号の審査	3
議案第101号の審査	6
議案第104号の審査	7
議案第105号の審査	7
議案第106号の審査	8
議案第107号の審査	8
議案第108号の審査	9
議案第109号の審査	10
議案第110号の審査	13
請願第11号の審査	17
報告事項	19
所管事務調査	21
閉会	27

総務産業委員会記録

招集日時	平成28年9月26日（月）	午前9時30分		
開議・閉議	午前9時31分	開会 ～	午後1時50分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	会期中(第6回定例会)の開催		
出席委員	委員長	山本恒道	副委員長	森本洋子
	委員	田原隆雄		尾川直行
		津島 誠		守井秀龍
		石原和人		
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	鵜川晃匠		
	委員外議員	なし		
	紹介議員	なし		
	参考人	なし		
説明員	まちづくり部長	中島和久	まち産業課長	小川勝巳
	まち営業課長	田原義大	まち整備課長	平田惣己治
	上下水道課長	藤森 亨		
	日生総合支所長	星尾靖行	吉永総合支所長	金藤康樹
傍聴者	議員	橋本逸夫	掛谷 繁	立川 茂
		星野和也		
	報道関係	朝日新聞	読売新聞	
	一般傍聴	1人		
審査記録	次のとおり			

午前9時31分 開会

○山本委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの出席は7名全員です。定足数に達しておりますので、これより総務産業委員会を開会いたします。

本日の委員会は、まちづくり部関係の議案審査と所管事務調査を行います。

議案の審査が済みましたら、予算決算審査委員会の総務産業分科会を開催します。分科会終了後、委員会を再開し、報告事項、所管事務調査を行います。

それでは、直ちに本委員会に付託されました議案等の審査を行います。

***** 議案第93号の審査 *****

まず、議案第93号平成28年度備前市飲料水供給事業特別会計補正予算（第1号）についての審査を行います。

○石原委員 11ページ、1目水道事業費のうちの15節工事請負費161万円が計上されておりますが、説明によりますと雷により発生したものであるという説明があるんですけども、この件について詳しくお教えいただけたらと思うんですが。

○藤森上下水道課長 吉永町飯掛の配水池の水系が7月4日の雷で破損したものを緊急に修理したもので129万6,000円です。

もう一つは、日生町寺山の水源池で滅菌器が1系統壊れました。それから、残りの1系統も8月22日に調子が悪くなり、現在仮設の機械で対応しているもので、早急に対応する必要があるため、31万4,000円です。合わせて161万円の補正を上げさせていただきました。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、質疑を終了してよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、議案第93号の採決を行います。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第93号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第93号の審査を終わります。

***** 議案第94号の審査 *****

続いて、議案第94号平成28年度備前市水道事業会計補正予算（第1号）についての審査を行います。

質疑のある方は。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、議案第94号の質疑を終了いたします。

これより議案第94号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第94号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第94号の審査を終わります。

***** 議案第95号の審査 *****

続いて、議案第95号平成28年度備前市下水道事業会計補正予算（第1号）について審査を行います。

議案第95号について何か質疑がありましたら。

○守井委員 12ページ、汚水管渠の水道工事で築造工事の内容について御報告いただきたいと思います。

○藤森上下水道課長 汚水管渠築造工事5、300万円の内訳についてですけども、日生の栄町のはましん前で下水道管に穴があいて土砂が詰まりました。それについて復旧方法をどうするかということで、その間2スパンあるんですけども41メートルを推進でメートル約50万円、それからマンホールのライニングを150万円見込んで、予算は復旧工事で2,190万円を上げさせてもらっています。

それから、仮復旧工事について、はましん前についてポンプを設置したり、ポンプがあふれる前に汚水が次の管に流れるように浅いバイパス管を設けたりする仮復旧に831万円、それからバイパス管に81万円、管を復旧した下流側30メートルのライニング工事に1,000万円を見込んでいます。

それから、梶谷のマンホールポンプの弁が噴いたり、管が腐食したりしていたので、復旧工事に700万円を見込んでいます。

○守井委員 どのくらいの大きさの穴があいたんですかね。何メートル壊れたんですか。

○藤森上下水道課長 ちょうどマンホールポンプから出てきて管から流れて60センチほどの段差がついているところがあります。そこで硫化水素が発生したと思われる原因で7メートルほど管が薄くなったところが陥没、そこから土砂が出てきたという状況です。

○守井委員 恐らく同じような構造なりでやっていると思うんで、同じようなことがまた起きるんじゃないかとちょっと心配されるんですけども、今後の対策なんか考えられていますか。

○藤森上下水道課長 管路調査については、平成9年ごろから約10年に1回、マンホールポンプから出た下流側のヒューム管について調査をしてくれています。平成19年にも日生で同じようなことがあったんですけども、それは平成18年に管路調査をしてひどい状態になっていたんで、すぐ予算を上げて直そうかという3カ月ほど前に陥没しました。その後も日生は一旦全部していたんですけども、今回同じようなことが起きました。備前についても平成9年から管路調査はしております。それから、ちょうど平成25年で2回目の管路調査に入りました。それで伊部のほうはかなり荒れていたんで、平成26年、27年で管更生をしております。

対策としては、今まで10年に1回程度調査をしていたのを、ここで5年ぐらいに変えようか

とっております。

○守井委員 ぜひそういうぐあいに少しでも改善をするようにお願いしたいと思います。

○田原委員 今の関連ですが、平成9年ごろ調査して、次は平成18年に調査する前に栄南木材の前で事故があったということですかね。

○藤森上下水道課長 日生地区については、平成17年3月に合併して、分室があったんで、当時の下水道課へ維持管理が移管されたのが平成18年からです。管路調査は平成18年に日生をやっております。そのときに西崎元議員の前はかなり荒れていて、そういう状況ですぐ直さないといけないということで予算を上げて設計中に起きました。

○田原委員 そこは危ないとわかっておった、工事に着手する前に事故が起きたと。その他ほかにはそういうような危険箇所はなかったんでしょうか。また、ここだけだったのかね、次は25年に調査という、そのほかにもあったのであれば、どういう手当てをされたのかお尋ねします。

○藤森上下水道課長 管路調査をするときに、管路の状態をABCで評価します。そのAというのはすぐに対処しなければならないという状態です。そのAがあったところについては予算を上げて対処してきています。

○田原委員 それで、今回のはましん前の事故は、そのABCのどのランクに値されとったんでしょうか。

○藤森上下水道課長 平成18年にしたときにはBランクです。

○田原委員 Bランクはほかにあるんでしょうか。

○藤森上下水道課長 まだあります。

○田原委員 やはり事故が起きると要らん金も要るんで、危ないところは早く着手すればいいんじゃないかなと思うんですけども、何カ所ぐらいあるんですか。

○藤森上下水道課長 資料を持ってきてないんで何カ所というのはわかりませんが、管路の調査した10分の1ぐらいじゃないかと思います。

○田原委員 10分の1という表現がよくわからないんですが、事故が起きると仮復旧したりいろいろな費用が要るじゃないですか。今調べたらAランクに上がっておるかもわからんわけですよ。それは今までの流れから想像ができると思うんですよ。なぜ事故が起きたのか、そこにポンプとか、そのBランクの中でも同じような症状の起きる箇所っていうのは、私たちはわからんけどあなたたちプロならおよそ想像がつくと思うんで、そういうところにはやはり事故の起きる前に手をつけるほうがいいんじゃないかなという意見です。いかがですか。

○藤森上下水道課長 言われることはもっともだと思います。ただ、今まではBランクでもかなり幅がありましたので、Bランクだった箇所を重点的に10年で2回目をするというのを決めていたんですけども、先ほどお答えしたとおり5年に変えて、早いうちに対処していこうと思っています。

○尾川委員 以前にこの修理の課題というか、費用がどのぐらいかかったというのをもらったような記憶があるんです。ですから、またそういう点検とかあるいは修理した箇所の費用の一覧を

つくってもらいたいんですけど。

○藤森上下水道課長 備前の中でヒューム管が何キロあるとか、何年度にどれぐらいどこを調査してきたかという資料は石原委員からの要求で、きょうお配りしていると思います。ただ、どこを管路更生したとか幾らかかったというのは、間に合わなかったので入れていませんけども、またその資料はつくりたいと思います。

○尾川委員 その結果ばっかし把握しても仕方ないというか、今後の防止策、点検を早目にして、早く対策したほうが費用的に安くつくかどうかという問題もあるし、それと設備的に根本的にやりかえるということも長期的には、何年ぐらいになっとんか、そのあたりも考えながら、現状把握するしかないのかなど。手を打って、問題が起きるまで放置するか、それとも早目に先手を打つかという方向をつかむためにもぜひやってほしいというふうに思います。

○藤森上下水道課長 いろいろ考えて対策させていただきたいと思います。

○石原委員 先ほど資料のお話もあったんですけども、今回一般質問で同僚議員の方も取り上げられまして、市長よ沿岸部のヒューム管の延長等についての御答弁もあったんで、それに絡めてどれぐらいのヒューム管が今備前市内に広がっているかというようなところで資料をお願いしたんですが、後ほどの所管事務調査で下水道全般についてはまた改めて取り上げさせていただければと思うんです。ここでは先ほどこのたびの工事請負費の内訳の中で推進工法のようなお話が先ほどあったんですけども、今回の工法についても市長のこの間の御答弁では2つの工法の中でどういう形を選定して進めていくかというのを今後検討していきますというような形だったんですけど、工法はもう決定したということによろしいでしょうか。

○藤森上下水道課長 予算では推進工法で上げさせていただいていたんですけども、現場の状況を精査して、現在は開削工法で考えております。ただ、前回もただ掘るだけのやり方でしたら海水がかなり入ってきて掘れなかったという状況があるんで、その海水をとめるための薬液を注入して、海水が入ってくるのを少なくして掘る工法を今設計しているところです。

○石原委員 初歩的な質問で申しわけないんですけど、開削工法について御説明いただければと思うんですけど。

○藤森上下水道課長 開削というのは、大きな重機を持ってきて道をそのまま土を掘ってダンプに入れて捨てて、管を入れてまた埋め戻して埋めるというやり方です。

○石原委員 そして、推進工法も御説明いただければと思いますが。

○藤森上下水道課長 推進工法というのは、モグラのように上から掘らずに横から大きな基地をつくって、そこから管だけを掘って埋設していく工法です。

○石原委員 それから、先ほどの御説明の中でライニングというものがあったんですけど、このライニングについても御説明いただければと思いますが。

○藤森上下水道課長 ライニングというのは、管が荒れているところについてコーティングといいますが、樹脂製のものを塗って硫化水素から防ぐという工法です。主な工法としては、風船のようなものを管の中に入れて、中で膨らませて管に張りつけるというやり方が主流です。

○石原委員 今回の日生の案件については、現在のところは応急処置をしておいて、予算がつけば本格的に改修していくということですか。見込みでいくとどれぐらいの時期を見込んでおられるのでしょうか。

○藤森上下水道課長 現在コンサルタントで図面を作成中なので、11月ぐらいに発注できればと思っています。それから3月までに予算は全部消化したいと思っています。

○山本委員長 よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ほかにはないようですので、質疑を終了いたします。

それでは、議案第95号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第95号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第95号の審査を終わります。

***** 議案第101号の審査 *****

それでは、議案第101号の審査に入ります。

議案第101号平成27年度備前市浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定についての審査を行います。

決算書の311ページからです。

議案全体で質疑をお受けいたします。

○尾川委員 323ページの普通旅費なんですけど、26年も27年も同じ額になっとんですが、理由はどうなんですか。ある程度変動するもんじゃないん。それとも決めただけの出張をするということになっとんですか。

○藤森上下水道課長 通常は公用車で行けるところは公用車で行きます。それから、公用車がないっていなかったら公用許可をとった自動車で行きます。去年と同じ金額というのは、たまたまです。

○尾川委員 特に消化方法を考えとるわけじゃあないんですか。

○藤森上下水道課長 全部公用車で行けたらゼロにしています。消化方法を考えとるというわけではありません。

○山本委員長 よろしいか。

ほかにはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、議案第101号の質疑を終了いたします。

これより議案第101号の採決を行います。

本決算は認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第101号は認定されました。

以上で議案第101号の審査を終了いたします。

***** 議案第104号の審査 *****

引き続き、議案第104号平成27年度備前市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定についてでございます。

別冊の決算書をお開きください。

何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、議案104号の質疑を終わります。

これより議案第104号の採決を行います。

本決算は認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第104号は認定されました。

以上で議案第104号の審査を終わります。

***** 議案第105号の審査 *****

引き続き、議案第105号平成27年度備前市飲料水供給事業特別会計歳入歳出決算の認定について、決算書の391ページをお開きください。

○尾川委員 401ページの滞納分が12万8,000円入っとなんですけど、26年度に比べたら入るのは減り、不納欠損は減っとなんですけど、そのあたりの事情を説明してください。

○藤森上下水道課長 飲料水供給事業特別会計は現在鴻島についての水道会計です。鴻島は別荘が多くて、出たり入ったり、人が来なかったり売り買いされたりしてなかなか居どころがつかめない方が多くて、不納欠損が2人分1万4,574円は出ました。実際に売り買いされて出ていく方については、水道をとめるんで、とめられたら困る人は払ってくれますけども、もう売ってなくなった人についてはなかなか居場所もわからず、滞納についても同じような状況です。おられる方については、水道をとめて困られたらまた払っていただき、水道栓をあけたりして対応できるんですけども、いなくなる方については対応できないのが現状です。

○田原委員 結構今鴻島の別荘が動いとるみたいなんですよ、この間NHKで取り上げられたりしてね。それで、今の不納欠損の物件について、新しい人が入るときの新メーターは、前の人のメーターをそのまま使われるのか。前のメーターを使われるのであれば、今の不納欠損分についての何らかの交渉ができるのかどうか、その辺の工夫はどうでしょうか。

○藤森上下水道課長 メーターについては8年間で交換しなければならないとあるんで、まだ8年が来ていない場合はそのまま使いますし、いなくなってメーターを取っている場合は新しいメーターをつけます。そのときに新しい方に前の方分の交渉というのは、できないと思っています。

○田原委員 そりゃそうじゃ。そりゃそうじゃけど、そこで何か一工夫ないかと。まあよろし

い。

○山本委員長 ほかによろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、議案第105号の質疑を終了いたします。

これより議案第105号を採決いたします。

本決算は認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第105号は認定されました。

以上で議案第105号の審査を終わります。

***** 議案第106号の審査 *****

引き続き、議案第106号平成27年度備前市宅地造成分譲事業特別会計歳入歳出決算の認定について、決算書の409ページからです。

質疑のある方はお受けいたします。

○守井委員 419ページの収入済額、財産売払収入、不動産売払収入1,249万円あるんですが、何筆なのか、面積が幾らかわかれれば教えていただきたいと思います。

○平田まち整備課長 御質問の土地売り払い代でございますが、27年度につつじが丘団地で12号地と15号地の2区画が売却できております。まず、12号地が面積238.87平米、売却価格は554万円でございます。もう一つ、15号地が面積251.96平米、売却価格は595万円になります。

○守井委員 あと残りほどのくらいになっているんですか。

○平田まち整備課長 市で持っております分譲地の残り区画なんですけども、つつじが丘であると1区画、それから日生のスワで1区画、計2区画でございます。

○山本委員長 よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、議案第106号の質疑を終わります。

これより議案第106号の採決を行います。

本決算は認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第106号は認定されました。

以上で議案第106号の審査を終わります。

***** 議案第107号の審査 *****

引き続き、議案第107号平成27年度備前市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について、決算書の425ページからです。

質疑をお受けいたします。

○守井委員 435ページ、駐車場使用料1,736万円の中で収入未済が116万円となって

おるんですが、このあたりの事情はどういう事情かお聞きしたいと思います。

○平田まち整備課長 この収入未済の116万4,359円ですが、いわゆる滞納でございます。内訳を言いますと、まず27年度の現年分が10万600円、残り106万3,759円が滞納繰越分ということで、以前から長年滞納されている方の分がずっと残ってきているというような状況でございます。

○守井委員 その滞納されとる前年以前の、27年度じゃなくてそれ以前のものについての滞納は、もう利用はされてないということなんではないでしょうか。26年以前に滞納されている方が、現在のその駐車場というものを利用されているかいないかということです。

○平田まち整備課長 この定期駐車場は1年契約、1年更新になっておりますから、滞納のある方については次年度はもう更新しないということで切っておりますので、滞納の方が引き続き利用しているという事例はございません。

○守井委員 滞納がないように鋭意努力をしていただきたいと思います。

○平田まち整備課長 おっしゃられるとおりでございまして、まだまだ我々の努力不足という部分もあろうかとは思いますが、年2回督促状を出して反応がない場合には個別に電話で督促をしたり、それから高額滞納者の方につきましては直接会ってお願いをしたりという話をしておりますが、やはり長年残っている方につきましてはなかなか応じてもらえないということで、苦慮しているところでございます。引き続きしっかりと努力していきたいと思います。

○山本委員長 よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑を終了いたします。

これより議案第107号の採決を行います。

本決算は認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第107号は認定されました。

以上で議案第107号の審査を終わります。

***** 議案第108号の審査 *****

引き続き、議案第108号平成27年度備前市企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について、決算書の443ページからです。

議案全体で何か質疑がありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、質疑を終了いたします。

これより議案第108号の採決を行います。

本決算は認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第108号は認定されました。

以上で議案第108号の審査を終わります。

***** 議案第109号の審査 *****

続いて、議案第109号平成27年度備前市水道事業会計決算の認定についてです。

別冊の決算書をお願いします。

2ページからお願いします。

収益的収入、支出、2ページから。2ページ、4ページ、資本的収入及び支出で何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、議案全体で何か。

○守井委員 2点お聞きしたいと思うんです。

まず、6ページの営業収益で給水収益が7億2,409万9,135円ということになっております。一方、10ページですが、流動資産の中で1億9,061万四千二百何がしと未収金になっとなんですけど、何か売り上げに対して未収金が割にしたら大きいという感じがするんですが、これは何か原因があるのでしょうか。

○藤森上下水道課長 水道事業の決算は3月31日で打ち切るものなので、それ以降に27年度のお金が入ってくるものは未収金として残ります。それから、工事費なんかで3月以降に払うものについては未払金で上がってきます。ここが大きいのは、滞納とかいうものではありません。入ってくるべきものが4月に入ってくるという、まだ入ってきてないからこういうふうに未収金で載っているというだけでございます。

○守井委員 内容はわかりましたけれども、それじゃあ4月に入る予定の金額、あるいは確実に未収金として残っていく金額がどれくらいかというのがわかれば教えてください。

○藤森上下水道課長 たくさんあるんで、主なものでよろしいでしょうか。

〔「結構です」と守井委員発言する〕

まず、27年度分の水道料金が1億2,955万7,838円がこの後入ってくる予定です。それから、下水道事業について支障移転工事をした補償金が351万2,160円入ってきます。それから、平成27年度に下水道使用料を水道事業で徴収しているんで、その徴収事務委託料として1,930万2,244円が入ってきます。これが主なものです。

○守井委員 実質的な未収金というのはもうないと考えていいんですか。

○藤森上下水道課長 過年度分が残っている未収金というのは、このうち1,621万8,188円です。

○守井委員 そのあたりもできるだけ回収といいますか、未収にならないように、滞納にならないようにということいろいろやられと思うんですけど、まあ水道の場合とはめることができるんで、かなり条件的にはいいんじゃないかと思うんですけど、そのあたりはいかがですか。

○藤森上下水道課長 滞納の集金については民間委託している第一環境がかなり頑張ってくれていますんで、水道をとめたり、それから集金に行ったり、何回も会いに行ったりして努力してく

れています。

○守井委員 また今後ともそういうことで努力していただきたいと思います。

それから、もう一点、監査報告の中に、有収率というような表現の中で、要するに水が販売のほうに回っていない率が高いのではないかというような表現があるんですが、85%が通常であって備前市は79%ぐらいにしかかってないという報告が入っているんですけど、その中で2点お聞きしたいんですけど、その理由が1つと、その中で本管からメーターまでの間で漏水をしているのが多いんじゃないかというような報告があるんですけども、実際はそういうことになっておるのかどうかお聞きしたいと思います。

○藤森上下水道課長 今回有収率が低かった理由として、2つ考えています。年度当初に伊里中、徳当で大きな管が漏水していました。徳当の配水池がどんどん下がるぐらい漏水して、下の池が満水になるぐらい漏水。山の中ですぐには気づかなかったんですけども、配水量が多いということで調査して探しますとそこだったんで、かなりそこで出ていたと思われま。

それからもう一つは、平成28年1月の終わりでしたか、かなりの寒波が来ました。そのときに大体400軒ほど家の水道が破裂しまして、これまたいろんなところの配水池が下がるぐらい漏水をしました。それが有収率を下げた原因じゃないかと思えます。

それから後は、2年ほど前ですか、消火栓から道路の側溝を掃除するのに使ってもいいということを始めたんで、それについて道路側溝、水路を洗うのに10分で申請されていたのが実際30分かかった、40分かかったりしてかなり多く使っていたことがあるんじゃないかなというのも感じています。

○守井委員 本管からメーターまでの間で特に漏水しておることはないということによろしいのでしょうか。

○藤森上下水道課長 平成27年で本管からメーターまでを水道課が責任を持って修繕しなければならないのは259件ありました。そのうちのほとんどが給水管です。本管から漏れているんじゃないかと道路を掘ってみたら、そこから個人に行っている給水管から漏っていたりすることが多くありました。

○田原委員 今の質疑にも関連するんですけど、下水の普及率にあわせて上水道の管も古いのを入れかえていっとるはずなんですけどね。そういう中でなおかつ漏水があるということはそういうところ以外だということなんでしょうけども、この監査委員の意見書のまとめの中で、市の総合計画目標人口が予測より減っておるということ、もう一点、施設利用率が50%を下回っているという、こういうようなことが指摘されているわけですよ。そういう中で今後全体の計画をどう考えていこうとしておるのか、またこの総合計画でしていた水道の計画、それを今後どう見直し、当初90億円と言うとったのを見直しして今後どのようにされておるのか。いきなり大きな事故が起きたら大変なことになるんで、幹線の計画をどういうふうにしているのか。聞くところによると、三石へ送るポンプも計画していたものが今中断されているというふうに聞いているし、頭島へ送る鹿久居のタンク、あそこから以降のものを今後どういうふうにやろうとしている

のか。もちろんこの監査でも数字的なことについては全く問題ありませんという中で、まとめとしてはそういうような人口減少問題とあわせて長期計画をどういうようにしとるのかということをお聞きしときます。

○藤森上下水道課長 このときの計画によれば、なぜこれだけ水量が大きくなるのかなということをお聞きしときます。これをちょっと調べてみたところ、企業誘致でかなり使う水がふえるんじゃないかということで水はふえるようにしていたようです。それから、人口についてもこれだけ人口減というのは見込んでなかったもので、それは今後見込んでいかなければならないとは思っています。ただ、施設の利用率が50%を下回っている状況だということについては、施設の更新については同じ能力の物じゃなしに更新、改築するとき能力を小さくしてやっているようには考えています。ただ、備前市の場合、井戸が9つありますので、例えば1つの池から何か水道に使ってはいけない指標菌なんかが出たときにとめたりする場合があります。そのときのための余裕があると思って、全く悪いことじゃないとは思っています。

今後の計画については、以前から要求をいただいておりますので、それは示せるようには準備を進めています。また今後その資料をお示ししようと思っております。

○田原委員 よろしくお願ひします。とにかく水道の事故っていうのは大変なことになると思うんで、事故の起きない前に手当てをしてほしいということです。

それから、今坂根のタンクの話が出たんですが、あれは完成しておりますけども、あのタンクは一部では使っていないんじゃないかということもあるんですけども、あのタンクは今利用しとるんですか。

○藤森上下水道課長 タンクは今使用していません。

○田原委員 どうしてですか。

○藤森上下水道課長 タンクは一気に工事をしてしまいましたが、それに伴う周辺の減圧弁とか仕切り弁なんかは27年度の工事でした。それを繰り越しして28年度の当初に終わったばかりです。それから、坂根の配水池、今のタンクを使用しようと思ったら茶臼山と二ツ塚にタンクがあるのをやめなければなりません。その茶臼山についてやめる方法について、今茶臼山の下部落である内座地区ですか、そこと協議を進めています。その協議が調い次第茶臼山の配水池を廃止して坂根の配水池を使用しようと考えています。

○田原委員 わかりました。28年度で工事が終われば使っていこうということ、それから茶臼山のタンクについては新しいタンクをつくる前に地元とはその辺の協議はされてなかったんですか。

○藤森上下水道課長 去年から正式に話を始めとんですけども、以前から全部撤去してくださいという要望書はずっと出されてきていました。全部撤去するとなったらかなりの費用と大きな機械が行ったり来たりして、かなりあの部落地区についても影響が出るんで、水道側としては全部撤去しない方向で話を進め、地元側としては全部撤去してほしいという話から始まっとなんで、その妥協案について1カ月から2カ月に1回協議をずっと進めてきて、ちょっと長引いております。

す。

○山本委員長 それでは、ほかに何かありませんか、109号。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、質疑を終了いたします。

これより議案第109号の採決を行います。

本決算は認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第109号は認定されました。

以上で議案第109号の審査を終わります。

***** 議案第110号の審査 *****

引き続き、議案第110号平成27年度備前市下水道事業会計決算の認定について、別冊で
す。

2ページから収益的収入及び支出までをお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら次の4ページの資本的収入及び支出。6ページらしいです。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、その他まで全体で。

○田原委員 収支については問題がなかったということなのですが、これもまとめの件で、一層適切な会計事務が図られるよう改善に努める必要があるという、そこまで監査委員に指摘されているわけですね。この適切な会計事務が図られるよう改善というのは、具体的にどういうことを指摘されたんですか。誤った決算書が議会へ提出されることのないようにとか、余り監査委員が指摘するような内容でないところまでかなり指摘されとんですけども、その辺の改善計画とか具体的な指摘内容について教えてください。

○藤森上下水道課長 監査委員には呼ばれて、かなりいろいろ指摘を受けて、改善をどういうふうに考えるのかということも言われました。どういう指摘かというのは、簡単な会計システムの操作ミスがそのまま監査委員のところまで来ていると、中のチェック体制はどうなっているのかという指摘を受けました。それから、職員の教育ということも指摘を受けています。

ただ、27年度の決算については28年度に異動がありまして、引き継ぎを受けた者が10日ほどで病休で来なくなり、ほかの人が自分の担当以外とあわせてやり始めたもので、引き継ぎがうまくできていなかったということで監査委員には報告をしました。今後の対策については、誰でもわかるようなチェック表をつくって、係長、課長でチェックをしていく体制を改善方法で言わせていただきました。

○田原委員 課長の努力は可とします。かつては東備水道企業団ということで日生町と備前市と統合する企業団があり、そして合併後も部長がおり、その下に上水道の担当課長、また下水道課長がおる、それをいろいろ事務改善して部長もなければ直接に課長が上水道も下水道も見て、そ

れでなおかつ事務職員は26年度より3人減というふうに書かれておりますが、これは26年度の決算、27年度の決算ですけど、現状はどうなっているんですか。こういうようないろいろなミスがあったんだということで人員をプラスすることで解決し得るのか、またほかの努力で解決しているのか、ブラック企業になつたらんのでしょうかという質問なんですけど、いかがですか。

○藤森上下水道課長 人員については、前は下水道の業務係、水道の業務係があったんで、それぞれの係長がついてチェックをしておりましたけども、今回は下水道と水道の業務係が一緒になって27年からは係長が1人減り、それから事務職員についても1人減っていったということなんですけども、今回10月1日異動で病気休暇している人の補充といいますか、1人補充していただきました。

○田原委員 補充は補充です。それは今3人体制でやっている中に病人が出たから、その人の休暇に伴う補填をしてもらったということなんで、プラス増ということじゃないですね。

○藤森上下水道課長 プラス増じゃなしに、業務係については平成28年4月1日の異動の人数に戻ったということです。

○田原委員 頑張ってくださいとしか言いようがありません。弱音は弱音としてやはり上司に報告して、こういう監査委員に指摘されないような体制づくりを努力してほしいと思います。上司はおるかな。上司、いかがですか。

○中島まちづくり部長 本当に今回監査委員の指摘等々、それから職員の病休などによりまして一時体制が厳しいということも十分承知しております。したがって、こういったことを総務課なり副市長にきちっと報告して、しっかりとした体制にしてくださいということをお願いしております。実際に限られたパイの中でどういうふうに人を手当てするかということは非常に難しいということも聞いておりますけれども、やはりしっかりした事務処理ができなければまいこと回っていかないということも十分ございますので、今回10月の異動によりまして職員が定数に戻ったということになりますけれども、職員の教育も含めてしっかりとして今後頑張っていきたいというふうに思っております。

○守井委員 先ほどの水道と同じようなことなんですけど、10ページの営業収益、下水道使用料等5億5,118万二千百何がしということに対して、14ページ、未収金1億4,989万円とあるんですが、先ほどと同じようなことだろうと思うんですが、その内容を教えていただきたいと思います。

○藤森上下水道課長 これも主なものは下水道の使用料でございます。27年度分の使用料8,775万742円が公共分で、吉永分が1,567万9,788円、農業集落排水分が123万3,094円、漁業集落排水分が178万4,577円、国庫補助金の未収分640万円が主なものです。それから、受益者負担金224万7,550円が大きなものです。また、滞納分なんかもありますけども、それはちょっと年度別にしか出してなかったんで集計してないんですけども、公共下水が1,000万円ほど、吉永分が500万円ほど、漁業集落排水が15万円ほど、

それから受益者負担金が1,500万円ほどあります。

○守井委員 もう一点、参考資料にあるんですけど、24ページで公共の水洗化率なんですけど、26年度と27年度が比較されておるんですけども、未整備地域ということで鋭意整備を図っておるという状況だと思うんですけども、26年度の水洗化世帯が9,245世帯、27年度が9,071世帯ということで170世帯ぐらいが減っておるんですけども、これはふえていくんじゃないかなと思うんですけども、何か大きな原因があったんですか。

○藤森上下水道課長 備前市の人口が毎年700人ぐらい減っています。だから、整備しても出られる方が多ければ水洗化率というのは低くなっております。

○守井委員 じゃあ、人口減が大きく影響しとるという解釈でよろしいんでしょうか。

○藤森上下水道課長 そのとおりです。

○石原委員 これもこの間の市長の一般質問の答弁で、下水道に関してもう年次的に調査をして、腐食の著しいところは順次内部コーティング等の工法で対応しているんだというような御答弁ございましたけれども、これは老朽化したヒューム管についてのことだったのかちょっと定かではないんですが、そういう形で年次的に取り組んでおられる中で、例えばその下水道の調査に係る費用は、30ページ、31ページにある一覧の表の中でいくと費用は委託料に含まれると理解しとってよろしいですか。

○藤森上下水道課長 収益的収支の委託料に入ってきます。

○石原委員 平成27年度にどれだけの区間を調査しましたというのはお答えできますか。

○藤森上下水道課長 今資料がないんで、また調べて報告させていただきます。

○石原委員 その資料をいただく際に、どれだけの区間に対してのそういうコーティングであったり処置を施したかというようなところも、あわせてお示しいただきたいと思います。

○藤森上下水道課長 それはきょうじゃなくてもよろしいでしょうか。

○石原委員 決算審査はいよいよきょうなんですけど多分すぐは難しいでしょうから、まあ、よろしくをお願いします。

それから、意見書の30ページの表5がありますけれども、わざわざ同規模の公営企業、概数値との比較のような欄がついておるんですけども、これで見ますと今問題視されておりました本市のところの職員数6名というところに対して同規模であれば3.7というような数字があるんですけども、これは同規模の他の公営企業ではこういう数字で運営されとるということなんですかね。

○藤森上下水道課長 下水道だけの人数で3.7人だと思います。この6人というのは多分これは事務職の水道と下水合わせた人数になっているからこうなつとんだと思います。水道と下水を両方6人で事務をやっていますのでそういうことじゃないかと思います。

○石原委員 じゃ、この表を拝見して捉えるのに、備前市では9から6人にと3人ですけども率でいくとかなり減少しているということで、先ほどあったような内部統制とか引き継ぎであったり会計処理であったりということも問題もあったんかなと思うんですけども、ここでの備前

市での6名という数字は適正な人数であるというふうに考えておいたらよろしいのでしょうか。

○藤森上下水道課長 担当が適正かどうかと言われるとちょっと少ないというしかないんですけども、実際は下水と水道が分かれていたときはもう少し人間の数はいたんで、係長が減る、課長代理が減るで、中の事務をチェックする人が減ったというのは確かです。

○石原委員 いろいろ厳しい状況もあるんでしょうけど、じゃあよそのところはこれぐらいの人数でしっかり頑張っておるということで、備前市が極端に少ないとか、そういうことじゃあないということでよろしいんですね。

○藤森上下水道課長 同規模のということでしたら、多分下水と上水は分かれていると思います。下水だけの人数で3.7人ということは、4人ほどいるということなんで、平成26年度の事務の職員というのは4人、同じぐらいな規模だと思います。

○尾川委員 ちょっと関連するんですけど、審査意見書30ページの3.7とかというのはこういう比較表を上げんほうがええんじゃねえんですか。物差しが違うのを無理してしてもね。

それと、それからもう一つは徴収関係を何か外部に出しとるというような問題があったりするでしょう。そのあたりもやはり数字的に上げて、少ないといって31ページにこれだけの内容を監査のほうから指摘されて、なおかつ今言うこの3.7と6の話もわからんし、比較するんならやはり上水と下水と分けるんなら分けて、きちっとした数字を出すんじゃないと、これじゃあちょっと説得力ないですし、普通3.7で6じゃったらええじゃねえかと、何でこんなミスが起こるんならという話になりゃあせんかと思うんですよ。それで、今言う徴収関係の外部に委託しとるというようなこともあるんで、そのあたりどなんですかね、こういうデータの比較。

○中島まちづくり部長 これは監査委員さんがつくられた資料ですので、うちのほうからどうこうというふうなお話はできにくいかなというふうには思います。人数の比較につきましては、やはりうちの場合は業務係の中に上水道、下水道が一本化しているというのが比較に当たっては非常に難しいかなというふうには思います。同じ業務をしても、水道の業務をしながら下水道の業務をするといったケースも見受けられますので、やはり一つの係になっているといったことがこういった支障を起こしているのではないかなというふうには思っております。

私どもも本当にしっかりとした業務体制をしていきたいということを常日ごろから訴えておりますけれども、当面はこのままというふうになっているのが現状でございます。

○尾川委員 ですから監査委員がつくのがやはりそれだけの、その前にはどういう形で担当者が指摘するんかわからんですけど、やはりこういった間違えた表現したら、こんなものも出るわけじゃから、正しい表現は伝わらんとするんですよ。だから、そういうことじゃあ担当者も、ここまで書かれて何か非常に私らとすりゃあ心外ですよ。担当者一生懸命やっとりながらミスも出てきとるということですから、やはりきちとこら辺は、すらっと見たら一般的には3.7で6といたら備前市が多いじゃねえかというようなことじゃあいけんから、何回でもきちっとした説明をしてやるべきじゃと思いますけどね。

○中島まちづくり部長 ありがとうございます。今後十分お話をしていけたらというふうに思い

ます。

○山本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、質疑を終了いたします。

これより議案第110号の採決を行います。

本決算は認定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第110号は認定されました。

以上で議案第110号の審査を終わります。

***** 請願第11号の審査 *****

続いて、請願第11号本市市役所及び本市議会議事堂の移転新設に係る請願を引き続き行いたいと思います。

金曜日に私と副委員長とで、請願者のお二人に会って、この前の委員会の話をさせていただきました。この請願の庁舎のほうをとっていただいて、都市計画の東片上島田線の件で話をさせていただきましたが、庁舎移転が前提で一緒でないといけんという話で、私らはそのまま受けて、それではこのままで再度委員会にて審査させていただくということで終わりました。

詳細は、副委員長から説明いただきます。

○森本副委員長 請願者の方に請願を一度取り下げて、請願の趣旨を変えて出されてはということとを委員会の要望をお伝えしましたが、あくまでも請願の趣旨の市庁舎移転というのは外すことはできないという御返事でした。4回ほど確認はさせていただいたんですけども、もうこれでもいいっていただきたいということだったので、そういうことであればこの最初の内容で委員会のほうでまた審査させていただきますということで話を引き取ってまいりましたので、今から審査していただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○山本委員長 何か意見、いろいろ私らも1時間ほど話はさせていただいたんですけど、私らの説得力が足りなんだんか、向こうの人がよう勉強せられとって、ぜひこれでというような。現地だったら駐車場が少ないんじゃないとか、いろいろ申されておりましたけど、とにかく庁舎の移転というのはもう大体こっちのほうに来るような話が進んでおるので、庁舎のほうだけはどうっていただきたいというようなのを繰り返して時間だけが過ぎたような感じです。皆さんの審議をこれでぜひしていただきたいと思います。

○津島委員 正副委員長にお尋ねします。

当該地区地権者の、あの土地は広大な土地で、地権者の同意ですね、これは皆とれたんかというのを質問されましたか。

○山本委員長 するのはしたんですけどね。話はええようにいっとるような話をしておりましたけど、まああちらさんの話ですので、自分たちというんですか、そこら周りはええ話はしとるような感じはしましたけど、あくまで話ですから、いろいろ書類はぎょうさん持ったけど何も

出したり見せたりはしてくれるような感じではなかったような感じです。

○津島委員 土地を入手するとなれば、ど真ん中で一人地権者にかぶりを振られたら、もうできんわけですね。それを地ならしができとんか、できてねんかというのを私はちょっとお尋ねしようですけどね。それはどういう返答をいただきましたか。

○森本副委員長 請願者の方は、大体という表現を使われたので、全員が全員まとまっているというふうには受けとめることはできませんでしたので。

○津島委員 そりゃおえんな。

○山本委員長 皆さんの意見を順番に。

○田原委員 お疲れでした。まず正副委員長の御努力に感謝いたします。ありがとうございました。そういう中で、おおむねの了解はいただけておるといふようなことのようにですけども、やはりいろいろ問題があろうかと思えますし、もう庁舎問題を取り下げんということになれば、もう庁舎問題は一つの方向性へ動いていますし、たとえそこが適地としても3分の2条項もありますので、やはりもうこのあたりで、せっかくの提案ですが、これは不採択にせざるを得んのではないかなというふうに私は感じました。

○守井委員 私は、この間先日の委員会においては、こういう請願が出てきたばかりということなので、もう少し区画整理事業なり都市計画道路について調査をするというようなことの意味合いにおいて継審というような形で提案をいたしました。庁舎の移転についてはここでということの方角性が決まっておりますので、その点についての審議はできないんじゃないかなというところでのお話をさせていただいておりました。

○石原委員 私もほぼ同様なんですけれども、前日も申し上げましたが7月7日ですか、第1回の庁舎建設に関しての特別委員会の中で、各委員が意見を述べ合った後採決に至りまして、その結果委員会としての現在地での建てかえ整備という方向性が出されましたので、やはりそこは、請願の提出はされてはおるんですけれども、そこの委員会としての意思表示はまずは尊重していくべきじゃないかなという思いはあります。

それから、とにかく合併特例債の活用ということが明確にされておりましたので、合併特例債活用の期限も踏まえてしっかり進めていくという方向ですので、もし合併特例債を切り離してしっかり時間かけていくんだというようなことができるのであれば、それは当然ありとあらゆる手法、場所、選択の余地もあろうかとは思いますが、もう一旦合併特例債を活用して現在地で整備を進めていくという方向が示されましたので、やはりそこは重視すべきであって、よって本請願には添えがたいというところの考えであります。

○尾川委員 今各委員がおっしゃられたとおりでして、庁舎移転については現在地の方向で進行しておるといふことですので、願意には添えないのではないかという。委員長、副委員長が請願事項の3の都計の問題にも触れられたようなんですけど、私もこの問題は一般質問でも2度ほどやっておるんで、こういうのはと思うんですけど、庁舎移転については願意に沿えんということで判断すべきだと思います。

○津島委員 庁舎移転となると、全議員の3分の2以上の合意が必要なんです。それで、この現在地、東片上126番地を動かすと今のところ、市長でも旧アルファビゼンへ移転するというのを断念したぐらいじゃから、ここも地権者の地ならしも終わってないようですし、庁舎移転は断念してもらって、あと区画整理計画事業のほうを執行部とともに元気を出していただきたいなと思うておりますので、この請願についてはちょっと願意に沿いがたいような、私は気でおります。

○森本副委員長 請願者のお話を聞いていましたら、都市計画のほうの話が主に言われていたような気もするんですけど、請願の趣旨は庁舎移転ということを言われていましたので、まあ合併特例債を使うというのがやはり大前提だと思いますので、時間がないということで、私も不採択と。

○山本委員長 ありがとうございます。

それでは、請願第11号は不採択という意見が多いので、本請願は不採択でよろしいか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、不採択ということにさせていただきます。

ここで暫時休憩します。

午前11時18分 休憩

午後 1時00分 再開

○山本委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を再開します。

***** 報告事項 *****

それでは、執行部からの報告事項があればお受けいたします。

○小川まち産業課長 まち産業課から2点報告させていただきます。

まず1点目ですが、海洋立国推進功労者表彰というのがありまして、日生町漁協さんの30年間に上るアマモの再生活動に対して内閣総理大臣賞をいただいたということを報告します。場所は8月25日の首相の官邸の大ホールにて表彰を受けたということです。

次に、2点目ですけれども、吉永町の笹目地区に和気町が管理している万能池という池があります。備前市内につまり和気町さんが管理している池があります。台風12号の後の9月22日午後4時ごろ、地区の代表の方から市へ池が漏水しているという連絡がありまして、備前市、和気町、岡山県、それから地区が現地を確認しましたところ、底樋の出口付近の石積みからの漏水を確認しました。現在は斜樋からとポンプ2台とそれからサイフォンで池の水位を下げている状況であります。今後の対応につきましては、和気町さんと備前市で協議をさせていただいて対応していく予定であります。

○田原まち営業課長 まち営業課から2点報告をさせていただきます。

お手元に本日お配りしました旧日生病院跡地の活用についてと、頭島のレストランの開業についてを報告させていただきます。

まず1点目の旧日生病院跡地の活用について（案）ということで、お手元に配付しております

とおり株式会社ローソンから市営脇ノ上駐車場、現在脇ノ上駐車場として管理しております旧日生病院跡地の一部を借り入れし、コンビニエンスストアを出店したいとの申し出がございました。貸し付ける方向で近隣住民及び現在の駐車場利用者と協議を行ってまいりたいと考えております。所在地につきましては日生町日生1436番地1の一部、図面でいいますと黒く枠で囲ってある部分でございます。敷地面積につきましては約1,200平米、契約形態は賃貸契約、賃貸開始日は29年4月1日からの予定をしております。賃借人としましては株式会社ローソンということでございます。

次に、頭島レストランのオープンについて御報告申し上げます。

9月10日土曜日から11日日曜日にかけて、頭島レストランのオープンに係る関連行事を実施いたしました。9月10日は11時から17時まで一般公開を、9月11日日曜日は11時から開業式、開業式後に試食会を行っております。9月10日の一般公開では約100名が見学され、9月11日日曜日の開業式は関係者を含め約60名の参加がございました。また、80名の方が当日の試食会に参加されております。試食の感想を聞きますと、大変おいしかったとの声を多くお聞きし、実際にその場で予約して帰られる方もおられました。今後この頭島レストランが備前市の魅力を国内外に発信していける拠点となりますように、委員各位の皆様の御理解と御協力を何とぞよろしくお願いいたします。

○山本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、質疑のある方は。

○田原委員 まち営業課へお尋ねします。

日生病院の跡地の件ですが、今回ローソンということで、遊ばせとるよりはいいかなということですけども、地元の方は喜ばれるんかどうかなんですけども、はっきり言ってパオーネとの競合ですわな。民間の方は自分で手当てをしてああいう店をつくって、日生にある小売業者がだんだん淘汰される中で、どうにかパオーネは生き残る、伊里にマルナカができる中でも地元で1件ぐらいいは地元のものを残したいということで、そういう中であそこを使うという機運があるわけですね。そういう中でこういう日生地区外の大手が来る中で、いいか悪いか、ちょっと私もきょういきなり見たんで皆さんの意見聞いてないんですけども。その賃貸料、家賃はどれぐらいなことを思われているわけ。

○田原まち営業課長 ローソン株式会社からの提示は月40万円で提示をされております。

○田原委員 期間は。

○田原まち営業課長 貸付期間につきましては、25年を考えております。

○田原委員 コンビニがぜひ欲しいという声の中から、もう少しこの地区より西側の民間の土地を借りたいというような話が、それはローソンだったかどうか知りませんが、そういう話があったように聞いています。そういう中でここへぼんとローソンができて、あの広大な土地を25年間ローソンに貸し付けるということについてはもう少し慎重にするべきじゃないかというふ

うに私は感じます。

○田原まち営業課長 地元の方の御意見等もお伺いする中で検討していきたいと考えております。

○尾川委員 関連で、建物というのは、備前市が建てて貸すとかというのは余り考えてない。

○田原まち営業課長 それは考えておりません。

○尾川委員 こういうコンビニなんかは一般的にそういう建物はあくまでも自分がして、土地だけ借りるといふような例が多い。購入はないんじゃないかな、一般的に。そんな話は交渉の中でつかんだような情報はないかな。

○田原まち営業課長 ローソンから提示があったのは、賃貸という話で。

〔「土地だけ」と尾川委員発言する〕

はい、そうです。今回そういう形で考えております。

○山本委員長 よろしいか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ほかはないようでしたら、報告事項を終わります。

***** 所管事務調査 *****

続いて、所管事務調査に入ります。

○石原委員 資料を準備いただいております。ありがとうございます。

まず、地域振興活性化事業補助金の交付状況の一覧につきまして資料提示をいただきました。たしか当初で2,000万円の枠の中で申請に応じて審査会等を設置して協議の上交付が決定していくということでしたけれども、こちらの補助金交付事業ですが、交付額の交付の補助率とか上限額というのは何か規定とかありましたかね。

○田原まち営業課長 交付額については定額補助で、補助率はございません。限度額につきましては、以前より実施していた事業につきましてはその額を限度額にしておりまして、本年度より新たな事業に関しましては一応の目安を100万円ということで審査をいただいております。交付決定額につきましては審査会で決定するという形で行っております。

○石原委員 それから、申請の受け付けについては現在も引き続き行われておるのでしょうか。

○田原まち営業課長 第1期の申請受付期間がたしか6月中の受け付けということで、これだけの事業が出ております。再度残った予算につきまして10月の広報で公募をかける予定にしております。

○石原委員 それから、この一覧を拝見しますとほぼ各種のイベントであったりお祭りの関係のことかとは思いますが、伊部小学校正門北側ブロック塀景観修景事業ということで、この事業のみが何かある部分の景観を美しくするというか、補修を含むのかどうなのか、そういうような事業にお見受けするんですが、この補助金交付の事業の何か規定のようなものはあるんですか。

○田原まち営業課長 備前市地域活性化事業補助金交付要綱というのがございまして、地域の振

興、地域の活性化を図り、個性あふれる観光のまちづくりを推進するため、地域の住民が主体となって実施する各種事業ということになっております。そういった中で、伊部小学校の北側ブロック修景事業というのはハード事業のみならずそこに子供たち等、あと市民の方が参加してイベント性を持たせて実施するというところでお願いをしております。

○田原委員 この件なんですが、はっきりしてなくて、要する企画費で予算をとって申請があったら渡すというような予算なんですが、我々それ認めたわけですからいたし方ないとしても、この中で毎年やっているイベントがありますが、そういうイベントは今後も当てにしとっていいイベントなのか、今回の単なるばらまきなのか、その辺をお聞きしておきたいと思います。

○田原まち営業課長 昨年度、既存事業というのが6番、7番までですか、ずっとやっていたお祭り等がございました。それにプラスアルファ1,000万円ということで枠を設けて市民の活動を応援しようという形でやっております。それにつきましては、予算がつけば担当課としては例年どおり要求をしていきたいとは考えております。

○田原委員 予算がつけばというのは、つけるのはあなたたちですからね。永続的に地域の活性化のためにこういう行事についてはやっていくとするんだと、単なることし一年じゃありませんよと、例えば片上ひなめぐりにしてもずっと今までやってきたものを自分たちだけでやって、今回100万円をつけるわけじゃ。来年もつけてあげますよという、そういう永続的な市の方針というものがあってこれをつけるんですかということなんでね。財政がはねるかはねんかは別として、担当としては続けていきたいという意見かどうかということを知っているんですよ。

○田原まち営業課長 担当としては引き続き続けていきたいと考えております。

○田原委員 わかりました。

○山本委員長 ほかにありませんか。

なければ、1つだけ言うておこうか。

〔委員長交代〕

○森本副委員長 それでは、委員長をかわります。

○山本委員長 これを見てわかるように、地域配分というたりするのは全然気遣いが、申請してねえんじゃからまあそりゃしょうがねえけどな。だから、そこら周りがある程度、来年からでももうちょっと気遣いというか、心遣いというんか、優しさというんか、大昔と同じように市役所ですというんじやなしに、ぜひ考えていただきたいと私が思うだけです。

○田原まち営業課長 いつでもまち営業課で御相談に乗らせていただいとっては思っておりますので、よろしく願いいたします。

○山本委員長 ありがとうございます。

○森本副委員長 委員長職をかわります。

〔委員長交代〕

○山本委員長 それでは、ほかにありませんか。

○石原委員 ほかの件ですけど、先ほど下水道関係の資料も提示をいただいております。済みま

せん、これもまた初歩的な質問も含めてなんですけど、HPであったりVUであったりするところも含めて、調査に関しまして御説明いただければと思いますが。

○藤森上下水道課長 お配りしている資料は、管路調査を始めた年度からその状況を表にしております。

それから、下側のほうへ備前市の、HPというのはコンクリートヒューム管で、それからVUというのは塩化ビニールパイプのことです。この備前市全てのコンクリートヒューム管の延長を左下のほうへ書いております、27,995.53キロ、約28キロと。それから、この前一般質問でありました、そのうち備前市沿岸部のコンクリートヒューム管は約9キロです。それを下のほうに書いています。その上に書いてあるのは備前と日生と吉永の内容でございます。

それから、この表に従って説明させていただきますと、コンクリートヒューム管が硫化水素によって影響を受けると言われ始めたのがちょうど平成8年ごろからだったと思います。それを受けて調査をしたほうがいいんじゃないですかということでもいろいろ始まってきて、平成9年から備前市の場合は始めております。それから、毎年ここにある表ごとに調べて調査していております。大体調査だけで1メートル当たり1,500円から2,000円と。ただ、中に汚泥がたまっていたり砂がたまっていたら、それを洗浄するお金がまた別途、メートル当たり3,000円ほどかかってきますんで、砂が滞留している管と滞留していない管というのはちょっと値段が変わってきます。それで平成25年度まで続けてきております。

平成9年、10年に調査した管のうち、このHP600、700、800とあるんですけども、この管の700メートルほどを管更生しております。コーティングをしております。それから、平成18年度に日生、寒河で1キロほど調査をしていますけども、そのうちのヒューム管400、HP400の262.85メートルのうち管が閉塞したところ、潰れたところはVUに50メートルほど交換して、残りの270メートルほどは管更生をしております。それから、平成25年度にHP500、222.15とあるんですけども、これは上のほうに平成12年度に伊部、浦伊部とある中に一部同じところが含まれています。また、ここからにおいがするんだという苦情があったんで、そこを調べてみたら腐食が進んでいたということで、この25年度に調査した222.15メートルのうち平成26年と27年度で40メートルほど管更生して直しております。

それから、VUも一応調査をしているのは重要な幹線としてメインの幹線、それから国道の下、線路の下をくぐっている管、それから吉永についても山陽本線をくぐっている管を、VUでしたけども調査はしております。ただ、VUは硫化水素の影響を受けてないんで、腐食が進むということはありません。ただ、滞積しているかどうか調べているんで、それから漏水があるとかないかとかいうのも一緒に調べているんで、あったらそれも直す予定で調査を進めています。

これで、この表の合計で管種別、ちょっと平成25年とかぶっとなんですけども、全体でコンクリートヒューム管27キロのうちVUも含めて13キロが今調査済みの箇所です。今後も幹線についてとマンホールポンプ、中継ポンプ場から出たコンクリートヒューム管については、午前中

も申しましたように約5年をめどに調査はしていきたいと思っています。

○石原委員 ありがとうございます。特にヒューム管のほうがよく聞く話ですけども、やはり耐用年数であったり古いものがあったり傷みも心配だということなんでしょうけれども、平成9年度からまとめていただいとんですが、この表でいきますとHPは平成9年度浦伊部、西片上あたりから調査がスタートしておるんですが、これは設置された古い順に調査がこれまで行われてきとるといような形で見ておったらいいんでしょうか。

○藤森上下水道課長 古い順にというか、備前浄化センターから近い順に調査を始めております。

○石原委員 VUのほうは一般的には耐用年数というのはどれぐらいと見られとんですか。

○藤森上下水道課長 管はコンクリートもVUも40年で償却しております。ただ塩ビの場合は、どれだけもつかというのは下水道を始めて塩ビが新しいもので、まだはっきりとはしていません。

○石原委員 確認なんですけれども、先ほど今後のこともおっしゃっておられましたけれども、塩ビもヒューム管も合わせたらかなりの延長になると思うんですけれども、現在まで一連の調査で行われとる延長が13キロメートル余りですけれども、これ以外の特にヒューム管が問題視されるんでしょうが、残りのところを先ほど末尾であったように5年間で調査をしていくということによかったんですかね、確認なんです。

○藤森上下水道課長 細かい枝管の小さいところまではかなりの延長があるので、ただメーンの管、それから硫化水素の影響を受けるであろうと考えられる箇所を5年をめどにやっっていこうと思っています。

○石原委員 それから、この調査の表によりますと平成25年度でとまっておるんですが、26年度、27年度の調査はどうでしたか。

○藤森上下水道課長 調査は、19年度も同じなんですけれども、18年度で、このころ悪いところがわかって、19年度は管更生のほうへ特化したと。それから、25年度でわかったところについては26、27で更生のほうに、管を直すほうへ力を入れたということで、管の調査は行っていないです。

○石原委員 先ほど今後5年間の調査の方向性もお話しされたんですけれども、実際の悪い箇所を見つけて手を施していくところとあわせて、やはり継続的にしっかりと実態を把握していただいて、これも継続的にずっと続けて、下水道が存在する限り延々と課せられたことだと思いますんで、しっかり調査と、それから実際の修繕であったり工事もしっかり、予算の面もあるんでしょうけれども、どちらも重要だと思うんです。しっかり計画立てて進めていただきたいと思ますし、またこれからの計画も示せるような内容のものができれば、委員会にもまた提示をいただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

○藤森上下水道課長 国の方針として、今までは30年以上たった管じゃないと補助対象には全く乗らなかったんですけども、今度は管路調査をして悪くなっている箇所について計画を立てて

国の承諾を得れば31年から補助対象になるということなんで、それまでにはどこをどういう順番で管路調査をしていくというのは計画をつくりたいと思っています。それができたらまた皆さんにお示ししたいと思います。

○石原委員 ありがとうございます。

それから、これはお願いなんですけど、備前市、旧吉永町、旧日生町とも合併して広くなったし、それから下水道の総延長三百何十キロでしたかね、かなりの長さになると思うんですけども、また何か可能であれば備前市中の下水道の張りめぐらされるところ、このあたりが特に古いのが入っていますとか、何かの形でそういう下水道マップみたいなものができたらいただけたらなという。少しでも下水道の理解を深めるための一助となればと思うんですけど、またちょっと検討して取り組んでいただければと思うんですけど、いかがでしょうか。

○藤森上下水道課長 全部をつくるということかなりの時間と労力がいると思うんですけども、国に出す書類、図面がどういうものをつくるかというのはこれからなんで、それにあわせてできたものがあればまたお見せしたいと思います。

○山本委員長 ほかに。

○田原委員 報告事項でありました町立病院跡のローソンの問題ですけども、これは契約議決になりますか。

○田原まち営業課長 契約議決の対象にはならないと。

○田原委員 契約議決にならん。これ、私は大変難しいなといって正直心配しとんですわ。まちの中心部の一等地ですわ。そこへそれを25年間やるということがいいのかどうか。やはり小規模のお店もこれでまた何軒か潰れるだろうということを含めて心配しています。

それから、公共用地にお店を誘致するというのが、公共性があるんだろうかなというのが。それは、ここが一等地ですわ、道路端でよく見えるし。その筋向かいの道路の奥に、これまた民間の土地が、この間ショッピングセンターがあったところが空き地であるわけですわ。そこらはただでもええというて、ただでもあげるといぐらいの相場なんですわ。そういうような民間のところがあることでも、やはり同業者たちは心配していましたけど、それを市の土地へローソンを誘致するということを住民感情として皆さんが同意するだろうかなという心配をしています。

あわせて、商工会への事前の相談はしているんですか。

○田原まち営業課長 コンビニが来るというお話があって、コンビニについては御存じのとおり食品販売、宅配便、公共サービスまで手がけておまして、今や日常生活に欠かせない一つの社会インフラとも言われております。そういったことで今回市民の皆さんが生活する上で便利になればということで、この話を地元のほうへお話をしようという形で考えております。実際商工会のほうへはまだそういう話はしてはおりません。

○田原委員 社会インフラでコンビニはぜひ必要だと思います、日生にも1軒ぐらいあったほうがいいのかという思いはしますけども、二度と手に入らないような公共用のスペースを、そこに誘致していいのかどうかというのはもう少し真剣にするべきじゃないかというふうなことが一点と、

それからそれができることによってあの近辺の小規模なお店が潰れますよということも含めて、市の土地にコンビニを誘致してええかということはまだ少し真剣に考えたほうがいいんじゃないかということを提言というか、危惧を伝えておきたいと思います。反対運動が起こったらどうするのということも含めて。

○田原まち営業課長 現在賃貸という話で25年という話なんですけど、売買という形で検討もしたんですが、やはりあそこは一等地であるので、最終的にそこが潰れたらどうなるんだという話もございまして、やはり賃貸のほうがいいだろうという判断をしております。

また、地元との調整ということですが、これからという話になりますが、ローソンさんが直接運営をするのではなくて地元の方に運営の話を持ちかけているというふうに聞いております。

○田原委員 あなたも日生の出身だから多少は事情もわかるとは思いますけども、今のパオーネの前へコンビニができるという話もありました。それがいつの間にか消えました。それから、午前中も言うたように別のところにもコンビニの誘致の話がありました。それも途中で立ち消えになりました。それから、何か聞くところによると日生の役場を潰してコンビニにしたいんじゃないかというような話も誰かが言うたとか言わんとかという話も聞いています。そういうような中で、ここへのコンビニはいかがなものかと。

それからあわせて、もしこれをコンビニにするんだとしたらこの道路をつくる前にあれだけの広大な土地のレイアウトをちゃんとして、残りの土地が有効に活用できるようなレイアウトをしてからこの位置にはコンビニだという都市計画を考えんといかんのじゃないの。この西側の土地をどうするのか、あと残った扁平な土地をどうするんか、そういう基本的な計画が見えんじゃないの、それは一課長の答弁できる問題じゃないと思うけれども。それは民間がやろうとしたのが潰れた、何で潰れたか、それは単価が安かったんか高かったんか、とにかくコンビニの誘致の話がかなり進んでいたのが潰れた中で今回ここがコンビニになるというのは、ここが有利だというふうに踏んでじゃないかと思うので、いろいろな調整が要ると思うよ。ましてや商工会とも一遍も意見も聞かずにいきなりぽおんと出すと、これまた物議を醸すと思うよ。忠告します。

○田原まち営業課長 今後商工会等とも話をさせていただきたいと思います。また、住民の意見もよく聞きながら進めてまいりたいと考えております。よろしく願いいたします。

○田原委員 今の話っていうのは、ローソンが直接運営しないんだということは、誰かする人がおるんでしょう。どなたですか。

○田原まち営業課長 まだそういうことが決まっていないので、ここで申し上げることはできません。

○田原委員 決まっていないけども、ローソンさんが自分で手に入れて日生なり備前市の人に門戸を広げますよとしているわけ、それとも、もう決まっとんじやろう。

○田原まち営業課長 今その話を進めている方がおられるということは聞いております。

○田原委員 そのあたりも含めてまた大きな火種を提案してくれました。やはり先ほどあったいろいろなコンビニ誘致の話があって、いろいろ物色されて、最終的には病院跡地。それも来年の

4月1日からということになったら3月議会で公表するんか12月で公表するんかわからんけども、議会議決もなしに今の主張は随契でできるということだろう、そういうことになれば。これはちょっと難しいなというふうに言うときます。もういいです。

○尾川委員 下水の関係で、この間テレビを見よったら下水の使用量よりも雨水とかが流入して処理できんということが問題になって、マンホールのふたをもう少し密閉した形のものに取りかえておるといふうなことでした。何で言ようかといたら、要するに備前市で一番このあたりが低いんですよ。それでいつも問題になって、噴いたりするのがやはり雨水が入ったりいろんな状況のために起こる現象があるんだろうと思うんで、今管の話ばかり出ようけど、そのあたりの対策というのは、何かかつてより考えられよんですか。

○藤森上下水道課長 先ほども管路調査のことを言いましたけども、管路調査は管が腐食しとるかだけじゃなしに漏水とか雨水が入ってきているかどうか調べております。それで漏水が発見されたところについてはそこも直すようにしております。ただ、片上地区の場合は平成15年、16年の台風のと看にかなり低いところが噴いたりしていろいろ問題があったんで、とりあえずは浄化センターへ送ると、それから浄化センターの上水は消毒だけして出すという方法も検討しております。ただ、浦伊部のポンプ場の能力を上げたことによって、平成15年、16年のように片上地区で噴いたりするということは今のところはなくなっていると思っております。

○尾川委員 それで、管路の漏れとかというのは調べていきようということですけども、マンホールのほうの関係は特に手をつけてないということ。それは、これからもやはりそういう問題は他の自治体でも指摘があつて、テレビで放送しとつて、備前市も同じような悩みかなというふうな感じで見たんですけどね。

○藤森上下水道課長 土曜日のNHKで夕方7時半ぐらいからやつていて、私もそれは見ました。ただ、ふたについては幹線道路なんかは当然車が多いところはすり減ってくるので、新しく変えるときにはそういう対応したマンホールふたには変えていつているんですけども、やはり枝線なんかでまだ使える状態のものまでを变えるというほどお金があるわけじゃないので、ちょっとそこまでは手が回っていません。

○尾川委員 今後の問題として、こういう提言をしとるわけで、対応だけはやはり頭のどこかへ残して、流量の問題を考えながら対応してほしいと思います。

○藤森上下水道課長 大雨、台風のと看にそういう箇所については気をつけて確認して記録に残すようには今しておりますので、今後考えていきたいと思つます。

○山本委員長 ほかには。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、所管事務調査を終わります。

以上で総務産業委員会を閉会いたします。

皆さん、御苦勞さまでございました。

午後1時50分 閉会